

シールアンケート結果 報告書

東浦町の環境を守る基本計画の改定を行うにあたり、多くの方の意見を聴取するため、産業まつりでシールアンケートを行いました。

開催日時 令和元年 11 月 9 日（土） 午前 9 時 30 分～午後 3 時 30 分

回答者 194 名（産業まつり来場者）

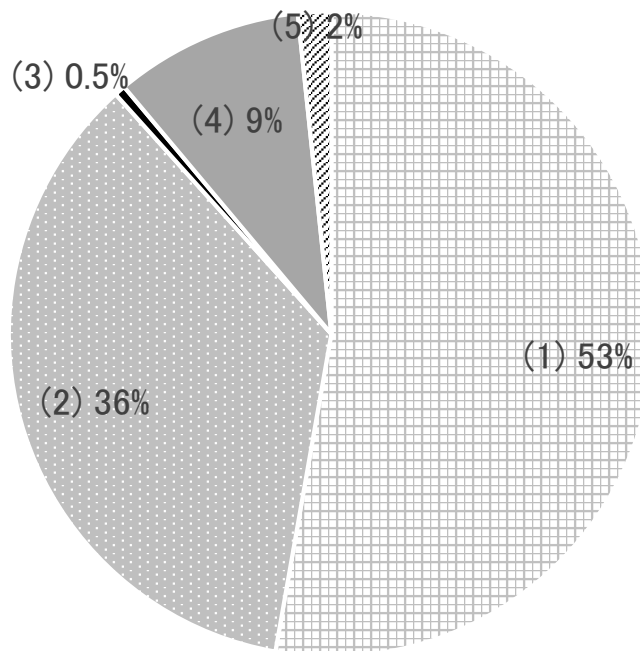
アンケート内容 ① 環境に対する「関心」と「行動」に関すること
② これから頑張る環境に貢献する取り組みに関すること
③ 東浦自然環境学習の森の認知度
④ 参加したいイベントについて

アンケート結果は以下のとおりです。

① あなたの環境に対する「関心」と「行動」の現状は？

関心が高く、行動している	95
関心が高いが、行動していない	64
関心が低いが、行動している	1
関心が低く、行動していない	17
どちらでもない	3
不明	14
合計	194

①あなたの環境に対する「関心」と「行動」の現状は？

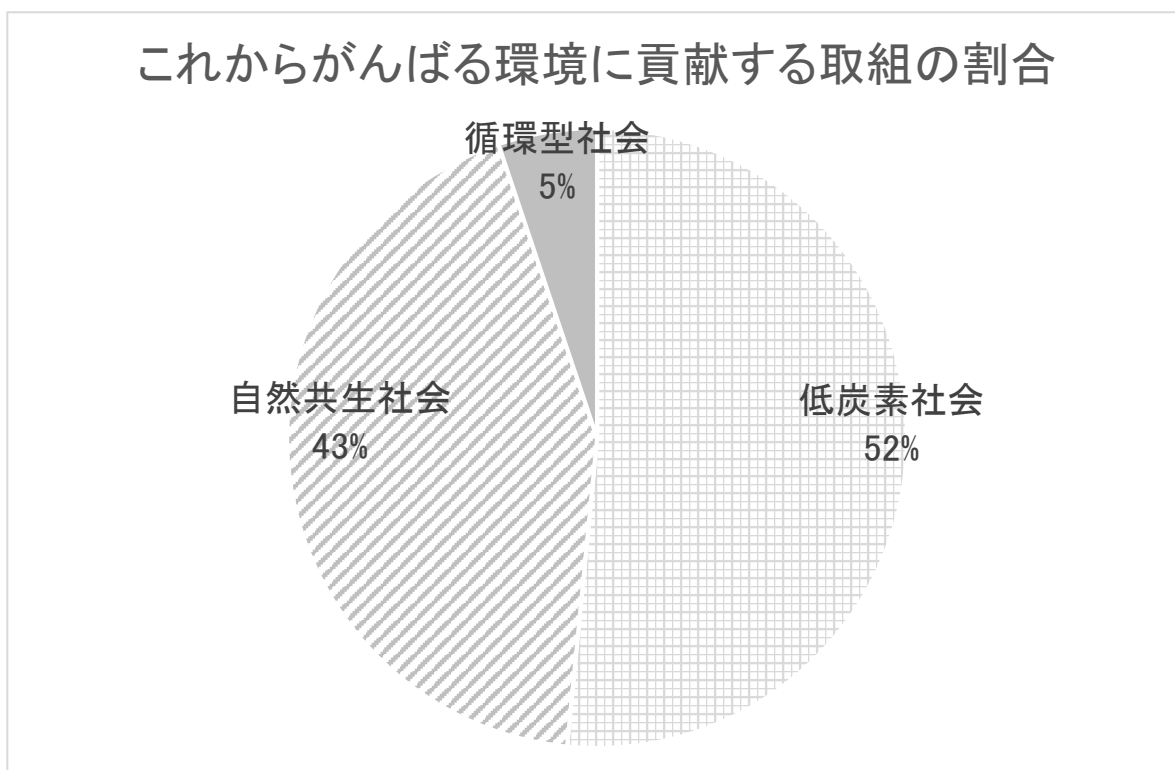


- ⊕ (1) 関心が高く、行動している
- (2) 関心が高いが、行動していない
- (3) 関心が低いが、行動している
- (4) 関心が低く、行動していない
- ※ (5) どちらでもない

環境に対して関心が高い方は8割以上いました。環境に対して関心があり、なおかつ行動している方は全体の半数以上いました。

②これからがんばる環境に貢献する取組の割合は？

(1) 低炭素社会(地球温暖化対策)につながる取組	100
(2) 循環型社会につながる取組	84
(3) 自然共生社会につながる取組	10
合計	194

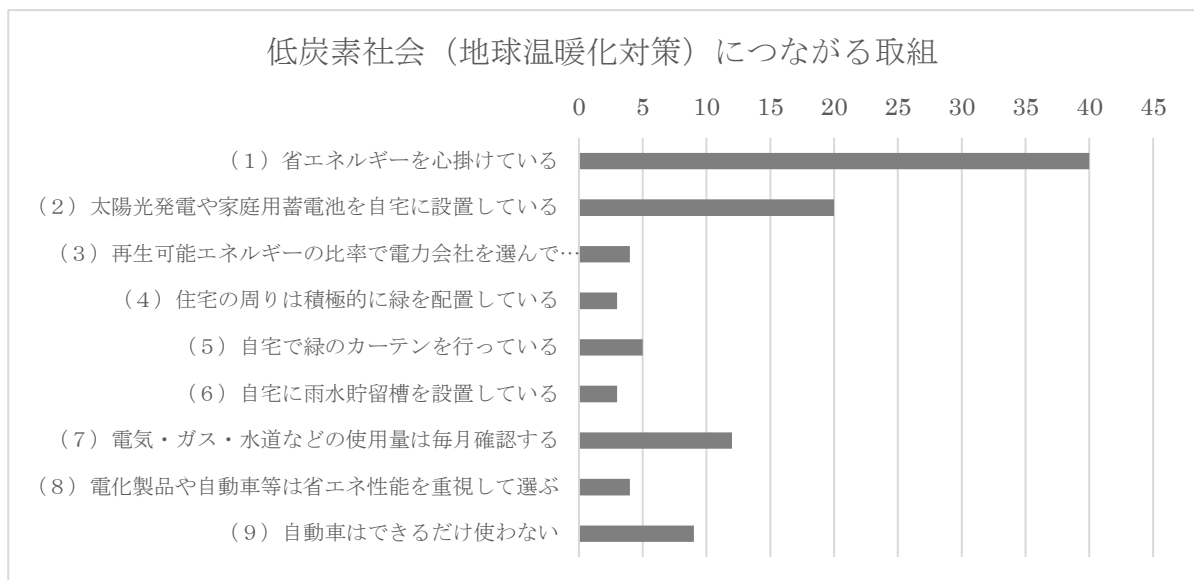


(1) 低炭素社会(地球温暖化対策)につながる取組と(2)循環型社会につながる取組を、これからがんばろうと思っている人が多いという結果になりました。理由としては、自然共生社会に比べ、家庭でもできる身近な取組が多いことがこのような結果になったと考えられます。

②あなたがこれからがんばる環境に貢献する取組は？

低炭素社会（地球温暖化対策）につながる取組	
(1)省エネルギーを心掛けている	40
(2)太陽光発電や家庭用蓄電池を自宅に設置している	20
(3)再生可能エネルギーの比率で電力会社を選んでいる	4
(4)住宅の周りは積極的に緑を配置している	3
(5)自宅で緑のカーテンを行っている	5
(6)自宅に雨水貯留槽を設置している	3
(7)電気・ガス・水道などの使用量は毎月確認する	12
(8)電化製品や自動車等は省エネ性能を重視して選ぶ	4
(9)自動車はできるだけ使わない	9
合計	100

(100/194名)

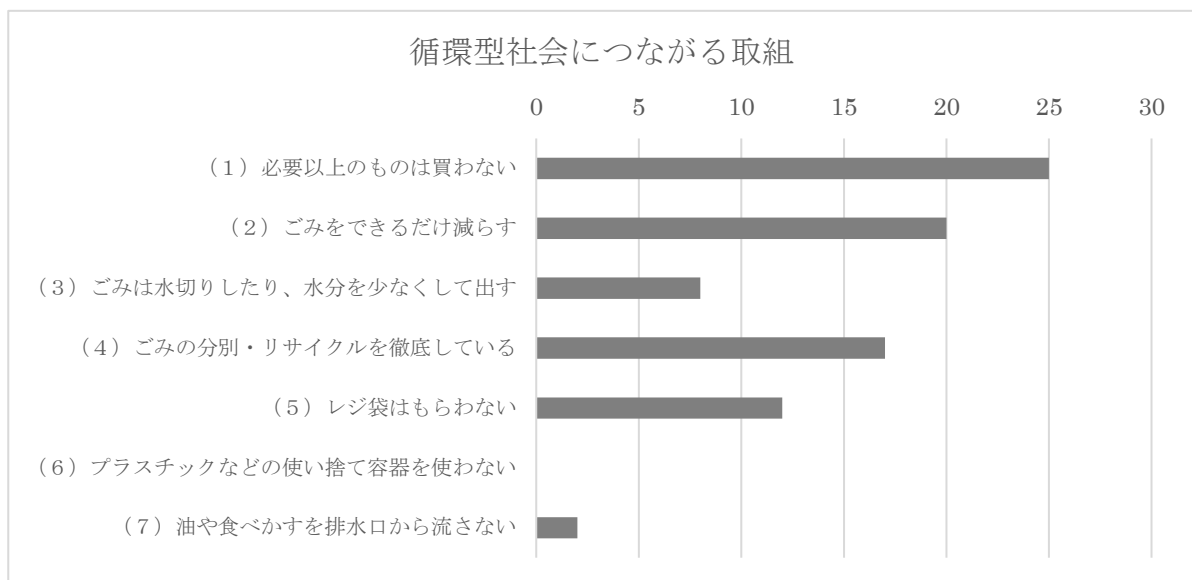


回答者の半分が低炭素社会につながる取組を実施すると回答がありました。

部屋の電気をこまめに消す、室内の温度設定を気にかけるなど、省エネルギーを心掛けている方が一番多いという結果になりました。

(②あなたがこれからがんばる環境に貢献する取組は？)

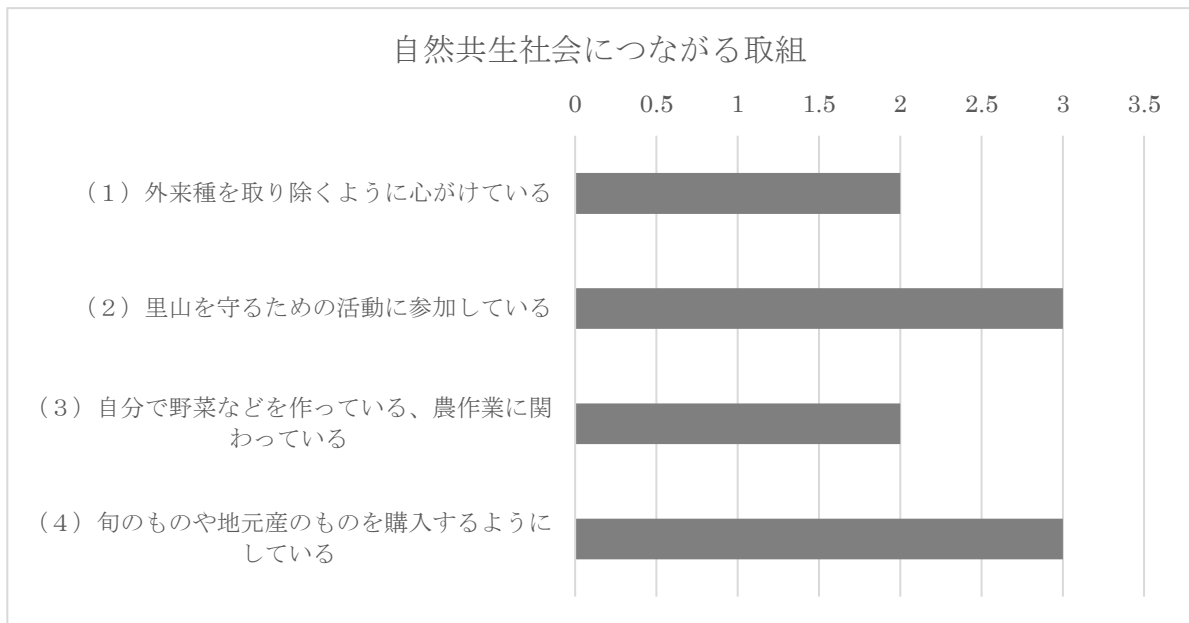
循環型社会につながる取組	
(1)必要以上のものは買わない	25
(2)ごみをできるだけ減らす	20
(3)ごみは水切りしたり、水分を少なくして出す	8
(4)ごみの分別・リサイクルを徹底している	17
(5)レジ袋はもらわない	12
(6)プラスチックなどの使い捨て容器を使わない	0
(7)油や食べかすを排水口から流さない	2
合計	84 (84/194名)



(1) 必要以上のものは買わない、(2) ごみをできるだけ減らす、(4) ごみの分別・リサイクルを徹底している、など家庭でできる身近な取組を実施している方が多いということが分かりました。プラスチックなどの使い捨て容器を使わないと回答した人は一人もいませんでした。

(②あなたがこれからがんばる環境に貢献する取組は?)

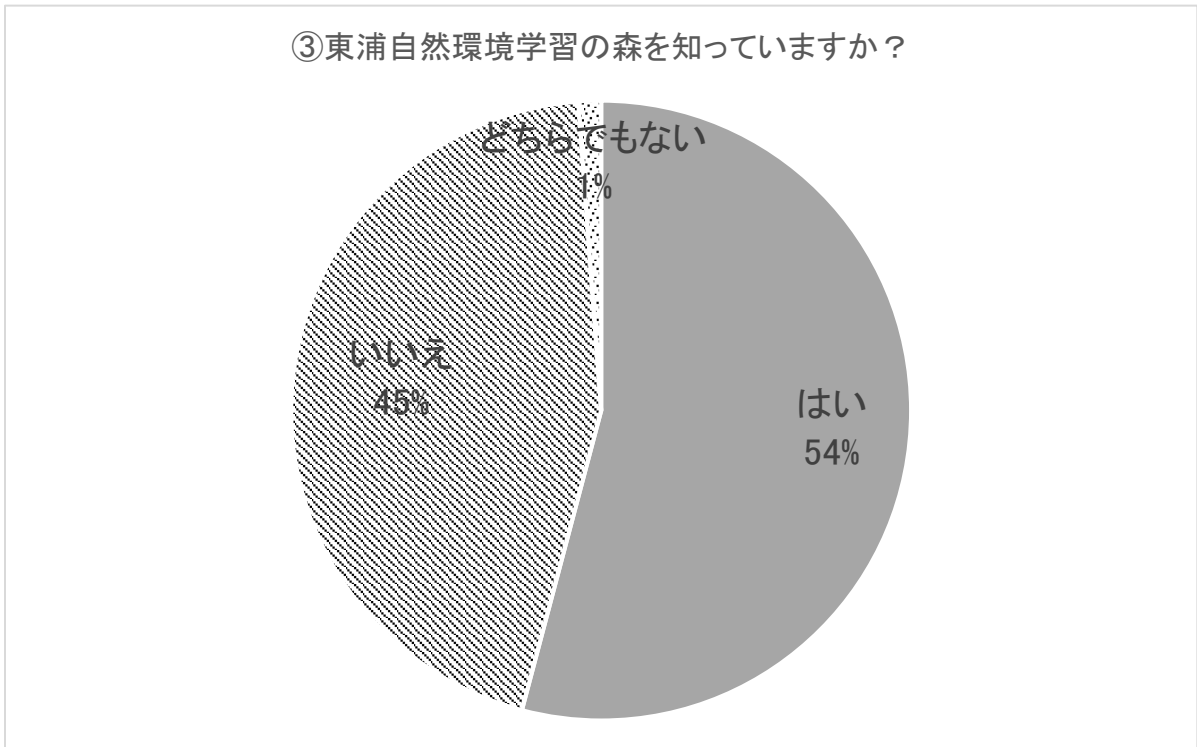
自然共生社会につながる取組	
(1) 外来種を取り除くように心がけている	2
(2) 里山を守るための活動に参加している	3
(3) 自分で野菜などを作っている、農作業に関わっている	2
(4) 旬のものや地元産のものを購入するようにしている	3
合計	10 (10/194名)



自然共生社会につながる取組を実施している方は、全体の1割弱程度で少ない結果となりました。

③東浦自然環境学習の森を知っていますか？

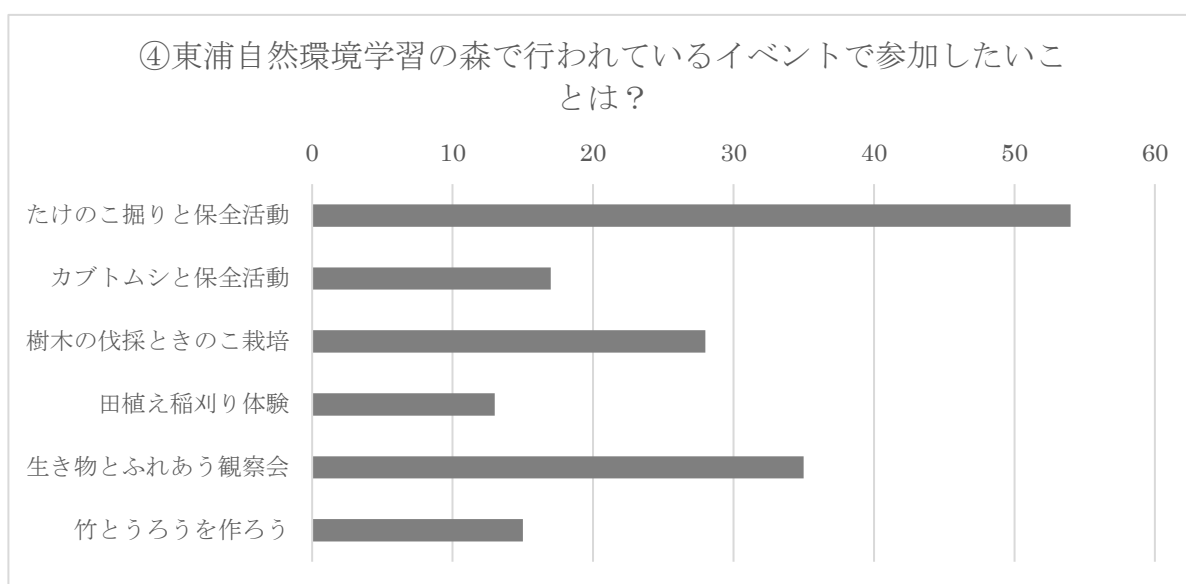
はい	92
いいえ	76
どちらでもない	2
不明	24
合計	194



半数以上の方が東浦自然環境学習の森を知っていました。

④東浦自然環境学習の森で行われているイベントで参加したいことは？

たけのこ掘りと保全活動	54
カブトムシと保全活動	17
樹木の伐採ときのご栽培	28
田植え稲刈り体験	13
生き物とふれあう観察会	35
竹とうろうを作ろう	15
不明	32
合計	194



一番人気のあったイベントは、「たけのこ掘りと保全活動」で、3分の1以上の方が参加したいと回答していました。

課題・所感

アンケート調査で「これからがんばる環境に貢献する取組は？」という質問に対し、20 個（3 部門）の取組事例を挙げた。その中で一つを選んでもらうという形式を取っていたが、もっとシールを貼りたいという意見もあった。次回、行うときはシール数を少し増やすと良いかもしれないと感じた。

シールアンケートをしている様子

